

# 千葉県社保協通信

2019年度一 No9 2019年 11月 26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2006@star.ocn.ne.jp](mailto:syaho2006@star.ocn.ne.jp)

## 消費税は5%へ引き下げを！

## 税金の集め方・使い方見直せば 社会保障の財源はあります！

県社保協・消費税廃止県連絡会・共同定例宣伝

25日夕刻、県社保協は消費税廃止県連絡会と共同で JR 千葉駅前定例宣伝を行ないました。千葉土建、千商連、保険医協会、新婦人、千葉労連、自治労連など7団体11人が参加。「消費税率5%への引き下げを」「お金の心配なく、国の責任で、安心して暮らせる社会へ社会保障制度の拡充を」求める2つの署名への協力を呼びかけティッシュ付きチラシ 180 枚ほどを配布しました。

千葉県商工団体連合会（民商・千商連）木幡友子事務局長は「複数税率に対応したレジ導入などの負担に耐えられず、閉店・廃業を決めた店も出ています。



「軽減税率」は名ばかりの8%据え置き税率で業者にも消費者にも混乱を与えるだけ。8%の飲食料品も値上がりや量が減らされたりで、その効果に疑問の声が上がっています。災害が相次ぎ、復興をめざす被災者にも税率10%が重い足かせとなり、復興どころか生業や生活の再建すら困難になります。増税を撤回し、税率を5%に引き下げれば被災者支援につながります」と話しました。

県社保協藤田事務局長は、「消費税は社会保障のためと言いながら、年金は減らされ、介護保険料も国保料もあがり続け、75歳以上高齢者の医療費窓口負担も引き上げが狙われている。さらに病院のベッドを減らして患者を追い出そうとしている。税金の集め方を変えれば社会保障の財源はあります。こんな安倍政治変えましょう」と訴えました。

“皆さんの声を国会に届けます”の呼びかけに“頑張る”と激励も。

「あたらしい千葉・みんなの会」が学習会  
**公立・公的病院の再編・統合は許さない**  
**地域からの反撃で情勢変える大きなチャンス**

厚生労働省が「公立病院再編・統合が必要」と名指しした全国の424病院、県内では10病院が対象となっています。24日千葉市内で「地域医療をめぐる動向と公立病院の役割」をテーマに学習会が開かれ、佛教大学教授の横山壽一氏が講演。主催は「青葉病院と海浜病院を市立のまま存続・充実を求める署名」に取り組む「あたらしい千葉・みんなの会」です。はじめに横山氏は「地域からの反撃で情勢を変える大きなチャンス」と強調。国の医療費抑制の柱の1つ「地域医療構想」には「地域の実情が反映されていない」「医師・看護師が確保できず使われていない病床も考慮されていない」などの問題点を指摘。各地域の「地域医療構想調整会議」が議論する病床削減は進まず、公立・公的病院に病床削減の役割を負わせる狙いがあること。公立病院には皆保険体制のもとで「いつでも、どこでも、誰もが、経済的不安なく、最高の医療を受ける」体制をめざし、その担い手としての役割があると話しました。

—千葉県後期高齢者医療広域連合議会を傍聴—  
**後期高齢者医療の窓口負担**  
**原則2割化に反対**

千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会が11月19日（火）午前、千葉市内で開催されました。

一般質問で、平ゆき子議員（茂原市議会選出・共産）は、「政府の審議会で75歳以上医療費窓口負担2割化が議論されている。しかし、老人クラブも医療関係団体も反対だ。年金引き下げの中で格差と貧困に拍車をかける。千葉県の広域連合としてどのように考えているのか」とたどしました。これに対して執行部は、「現状を維持すべきものとし例年その旨を国に要望している」と答弁しました。

議会では補正予算と地方公務員法改正に伴う会計年度任用職員に係わる条例制定などが審議されて、すべて可決しました。